



なかてっこ

令和8年(2026年)
8月25日 8・9月号
豊中市立中豊島小学校
校長 野坂 昭紀

2学期スタート！

長かった夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が校舎に戻ってきました。久しぶりに会う友だちと笑い合う姿や教室・廊下に並べられた夏休みの力作の数々に学校が再び活気にあふれています。

今年の夏は、記録的な猛暑が続き、熱中症への警戒が呼びかけられる日々となりました。また、7月には熊本県を中心とする大きな地震が発生し、多くの方々が被害を受けました。さらに8月には千葉県で記録的な豪雨が 발생し、各地で浸水被害や土砂災害が相次ぎました。自然の力の大きさと、その恐ろしさを改めて感じる夏となったように思います。

一方で、こうした困難な状況の中でも、被災地では人々が支え合い、助け合いながら復旧に向けて歩みを進める姿が報道されました。避難所で協力し合う人々、被災地を支援しようと行動する人々の姿からは、思いやりや助け合いの大切さを学ぶことができます。また、災害はいつ起こるかわかりません。だからこそ、自分の命を守るために何ができるのかを日頃から考え、備えておくことの重要性も改めて感じさせられました。

2学期のスタートは、まだまだ暑さが厳しく、夏休みからの生活リズムの切り替えに戸惑うかもしれません。中には、学校生活に対して不安を感じたり、登校が難しいと感じたりする場合もあるかと思います。教職員一同、子どもたち一人ひとりの様子に心を配り、安全で安心な環境づくりに努めてまいります。

熱中症対策について

まだまだ厳しい暑さが続きます。登下校中は、熱中症のリスクが大変高くなっています。登下校中は、途中で水分を補給したりして熱中症にならないようにご家庭でもお子様にお声かけください。

登下校中に水分補給する場合は、「安全が確保できる日陰で立ち止まって」と指導しております。ご家庭におかれましてもお声かけよろしくお願いいたします。学校と家庭が連携して子どもたちを守っていきたいと考えております。

8・9・10月の生活目標について

・ことばづかいに気をつけよう ・時間を守ろう

一部の子どもたちの間で、感情的になったときやふざけたときに、「死ね」「うざい」「消えろ」などの強い言葉が使われてしまう場面が見られます。子どもたちには、「本気でそう思っていないくても、言われた相手は深く傷ついてしまうことがある」ということを伝え、相手の気持ちを考えた言葉づかいの大切さを改めて指導しています。また、休み時間のあとの教室への戻りや、掃除の時間など、時間を意識して行動することも今後の生活習慣づくりにおいて大切です。「自分の行動がまわりにどのような影響を与えるか」を考えながら、集団の一員として責任ある行動をとれるよう、働きかけています。ご家庭でも、言葉づかいや時間の使い方について、お子さまと一緒に振り返る機会をもっていただくと幸いです。

2学期の主な予定

★のびゆくこども(前期)配布 9/30(水)

★宿泊行事

5年林間学舎(滋賀方面) 9/10(木)・11(金)

6年修学旅行(広島方面) 10/1(木)・2(金)

★音楽発表会 10/23(金)(学年ごとの発表)

★オープンスクール(参観授業)〈20分休み～4時間目〉 11/17(火)

★個人懇談会 12/7(月)～11(金)

※ 12/7(月)～10(木)は4時間授業後、11(金)は5時間授業後になります。

8・9月の行事予定は、先月発行の「なかてっこ夏休み号」に掲載していますので、ご確認ください。